

検便の採取方法

腸内細菌（便）検査は、一見健康に見えながら、体内に病原体を保有している「健康保菌者」を、早期に発見することを目的としています。

食品・食材を取扱う業務を行なう中での食中毒事故防止のため、大切な検査です。

今回は、検便採取の手順をご説明いたします。

検査を行った際、検体量が不足している場合は再度のご提出をお願いしております。

手順・必要量をご確認の上、採取をお願いいたします。

ラベルに

氏名・御所属等を

記入してください。

右図のように、容器に

縦に貼ってください。



キャップを

ゆっくり

上に

引き抜き

ます。



便の表面にスティックの先端を

2、3回刺し（または表面にこすりつけて）、

先端の穴部分に便を**あずき大程度**

採取してください。

※軟便の場合も同じくらいの量を採取してください。

※目視で確認できない程度の場合、検体量不足で検査結果をお出し出来ない場合があります。



《キャップがパチンと音がするまで容器に押し込み、しっかりと閉めてご提出ください。》

■当日の便、もしくは直前日の採取をお願いします。 ■直射日光に当てず、涼しい場所で保存して下さい。

◆スティックを肛門に挿入しての採取はおやめ下さい。

※十分な量が採取できません。

※体内に傷をつける恐れもあります。

ノロウイルス検査は別の専用容器になります。

※腸内細菌検査の容器では検査出来ません。

検査項目や検体の回収については、お気軽にお問い合わせ下さい。

株式会社 **九州保健ラボラトリー**
Kyushu Hoken Laboratory

<http://www.kyuhoh.co.jp>